

## 「AIデータサイエンス基礎」自己点検・評価

- 評価日時 2023年2月22日（水）13:00～14:30
- 会議名称 FD推進機構教養力育成センター部会
- 開催場所 A棟1階教養力育成センター会議室
- 議 題 数理・データサイエンス・AI教育プログラムの自己点検・評価、他
- 評価項目 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」における審査項目の観点による

## ① 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	履修者261名のうち合格者168名（全体の合格率64.4%、不合格者35.6%）であった。一方で、不合格者のうち30名は5回以上の欠席（オンデマンド授業のため課題の未提出）者であり、これを履修者の母数から取り除くと合格率は72.7%となる。 来年度以降の学生の単位取得率を向上させるため、情報リテラシーや課題提出がおろそかになってしまう者を早期に抽出し、個別に学習支援を行う。
学修成果	AIやデータサイエンスを活用することによって社会がどのように変化するのか、またそうした状況に私たちがどのように対応していく必要があるのかについて論理的に考察できる視座を与えることができた。学期末の学生へのアンケートでは、「人間中心の適切な判断を行うために必要なリテラシーを獲得することが出来た」「近代のコンピュータ技術やデータサイエンスについて学ぶことができた」「AIに任せきるのではなく、どのように使うことで私たちの暮らしが豊かになるかを考えることが大切だとわかりました」等、これからのAIとの向き合い方を考えるきっかけを与える授業とすることができた。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	学生の学修態度としてのアンケートでは、92%の学生が自主的かつ意欲をもって学習に取り組むことができ、同様に92%の学生が全体として意義あるものであったとの回答が得られており、一定の学修成果と共に満足度のある授業が提供できたと捉えている。 具体的な学修成果としては、AIに関する社会の動きとそれに合わせた産業構造の変化を中心とした授業を行ったため「専門知識：当該分野において必要とされる専門知識とそれらを応用する能力」が身に着いた60%の回答が得られた。また、動画配信によるオンデマンド型授業形態を整え、提出期限等を厳守への指導を徹底したため、「主体性：自主的、継続的に学習する能力」が身に着いたとの回答も40%得られた。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	学期末のアンケートの中で、次期履修者に向けてこの授業についてのアドバイスを記述してもらった。特にオンデマンド型として運用している点について、「主体性」「継続性」「計画性」を持って受講に臨むことの重要性についてアドバイスがなされていたため、本科目を受講する上での具体的なイメージを喚起することにつながり、受講を推奨することに寄与したと考えられる。

全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	新入生への全学オリエンテーションの際に、オンデマンド型での運用となる本科目の案内の時間を設けている。また、本科目を紹介するための5分程度の短い動画を配信することで履修率向上に向けて取り組んでいる。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本科目は、2022年度から1年次生を対象として開講されたため、本科目を履修し、単位を修得して卒業した学生はいない。2023年度から、工学部及び情報工学部において、応用基礎レベルモデルカリキュラムに沿ったプログラムを実施予定であり、それらの科目群を履修した学生の進路・採用状況等を把握していく。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本科目については、産業界の外部委員が参画する会議体にてオンデマンド講義での工夫や、受講者がデータサイエンスに興味を持つことができる内容であることについて報告を行い、評価を得た。（2022/9/26人材育成協議会）
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	AIやデータサイエンスの身近な活用事例を紹介することで、本科目の学習内容の重要性を具体的に伝えられるように工夫している。また、データサイエンスにおいては、実際のデータに触れることができる演習回を用意した。 学生への期末アンケートにおいても、「初めてのオンデマンドでの授業で予定通り行うことが少しできなかったけど、自分のペースで行い、自分が知らなかったたくさんの学びを得ることができました。」「説明や例がわかりやすく、図やグラフも多かったため理解しやすかったです」等の回答も得られた。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	学生の履修状況及び期末アンケートの結果に基づき、授業内容及びその方法の見直しを行っている。特にオンデマンド型の授業形態における履修の姿勢に関しては単位取得に大きく関わるため、提出期限のリマインド等様々な工夫がなされている。